

### 第3回 飯山市介護保険運営協議会 議事録

期 日 平成23年11月18日（金）午後3時00分  
場 所 飯山市役所4階全員協議会室  
出席者 委員12名（欠席5名）、事務局7名  
傍聴人 なし

#### 1 開 会

#### 2 委嘱状の交付

交代した委員へ委嘱状を交付

#### 3 会長あいさつ

本日は第3回目の介護保険運営協議会と地域密着型サービス運営委員会を開催しますが、運営協議会ではサービス供給量の見込みや、保険料の基本的な考え方等について、一定の方向を出していくようになりますが、市から原案が示されるので、ご審議をお願いします。

#### 4 議事（進行 会長）

##### (1) 介護保険給付費見込みに伴う保険料の設定について

資料に基づき事務局が説明

- ・人口推計 要介護認定者の見込み等の基礎数値
- ・サービス供給量の見込み

【質問】会長）保険料算定にあたり、現在見込んでいるサービス供給量は。

事務局）ワークシート（第5期介護給付等対象サービスの推計手順）作成の中で想定しているのは、特別養護老人ホームで18床、地域密着型グループホームで21床をサービス供給量として増えていく分として見込んでいます。また、要介護認定者数等はワークシートの自動計算で算出された数値を見込んでいます。

- ・保険料設定の基本的考え方と仕組み他

【質問】委員）財政安定化基金及び介護給付費準備基金の取り崩しの予定は。

事務局）財政安定化基金は県の基金であります、金額は未定ですが取り崩す予定であると聞いています。介護給付費準備基金は市の基金になりますが、残念ながら積立金額は0円であり、投入できない状況です。

【質問】会長）第４期介護保険事業計画の決算見込みは。

事務局）赤字となる見込みであり、財政安定化基金から借入を行わないと賄えない状況です。したがって、第５期の計画で借入金の返済を行うようになるため、この分が保険料に上乗せされるようになります。

【質問】委員）何とか保険料を抑制する方法はないのか。

事務局）介護給付費の財源構成が公費 50%、保険料 50%と決められているのでその負担割合を崩すことはできません。給付費が増えれば保険料も上がるようになってしまいます。

委員）保険料が値上げされるとあれば、特に低所得者への負担感は大きくなるはずなので、十分に配慮してほしい。

会長）事務局から保険料の設定として５パターン示されたが、第３段階軽減対象と第８段階を設け、第４段階を基準の 1.00 とした場合の弾力化割合を、第３段階で 0.80、第３段階軽減対象で 0.75、第８段階で 2.20 の方向で検討していく方向でよろしいでしょうか。

委員一同）異議なし。

会長）では事務局はその方向で試算をお願いします。

事務局）国の方針では第５期保険料の全国平均基準額として 5,000 円という金額を掲げていますが、当市には介護給付費準備基金もなく、第４期計画が赤字となる見込みであり、第５期で借入金の返済を行わなければならないため、基準額を超える見込みではあります。

## ５ その他

### （１）次回の運営協議会日程について

事務局）平成 23 年 12 月 22 日（木）、午後 3 時から市役所でいかがですか。

会長）ご予定をお願いします。

### （２）その他

委員）地域ケア連絡会での課題の中で、ショートステイは緊急時は利用できるが…とあったが、自分の経験として緊急時に利用できないことがあった。定員もあり、制度上仕方がないこともわかるが、現状としてショートステイは圧倒的に不足していると感じているが、どうか。

事務局）連絡会では利用状況等の情報を共有し利用促進を図っています。現在計画中の事業者もいるので、第５期の計画で実現できるのか詳細に検討してご報告します。